

## 33 東京法学院近況

〔法学新報〕第三二号 明治二十六年十月二十八日

## ○東京法学院

同院は先頃大に学制の改正を為し教務頗る整頓し各講師は怠りなく教授の任に当り特に毎年の判検事及弁護士試験の及第者同院の学籍に在るもの多数を占め居る等よりして入学を申込みもの日々多きを加へ今や新築の講堂も狭きを感じるの状況に至れ

りと云ふ是れ只に同院の面目のみならず社会の為め喜ぶべきの  
事為也